人とつながる手紙術

- 日本語検定の受検を通して自分の言葉を磨く意識が一層高まりました-

青木 多香子

(社) 手紙文化振興協会認定 手紙の書き方マスターコンサルタント キャリアコンサルタント (CDA) ブログ「手紙、おくります。」 http://fanblogs.jp/tegamigift/



~ビジネスの手紙はお客さまへのラブレター~

手紙が、ビジネスにおいて欠かせないコミュニケーションツールだと体感したのは、20代のときでした。社内で、お礼状を書く担当となりましたが、はじめは、書き方がわからず、書いては、上司から赤入れ(添削)ばかりされていました。

そんなとき、上司から言われた、ひとことがあります。

「(手紙を受け取る)相手の立場になって、考えたことある?」

それまで、「手紙を書かなくちゃ」「早く終わらせなくちゃ」という気持ちで書いていた手紙。「いつしか、何のために、誰のために」手紙を書いているかを忘れ、自己満足のための手紙を書いていたことに、気づかされました。

手紙の先には、受け取る相手の存在があります。 相手目線で、「どんな言葉で綴られていたら、嬉し いかな」と考え始めると、言葉選びも、表現も変 わっていきました。

例えば、依頼した演奏のお礼に「多くのお客様に

ご来場いただくことができました。誠にありがとうございました。」という文章より、「会場を埋め尽くす来場者のスタンディングオベーションと鳴りやまぬ拍手が、今でも忘れられません。本当にありがとうございました」と書く方が、文章の熱量も伝わり方も変わってきませんか?

次第に、お礼状に対して、丁寧なお礼状をもらったり、次の仕事の機会につながるなど、企業間において潤滑油となる、手紙の力を感じるようになりました。

現在、(社)手紙文化振興協会認定 手紙の書き方 マスターコンサルタントとして、手紙の書き方講 座や企業研修を行っています。

「手紙は、ラブレター。相手を想い、気持ちを伝える贈りもの。」

と、話すことがよくあります。相手を想像しながら書かれた手紙は、心を動かします。「誰のために、何のために」を明確にして、「相手想いの手紙」を書くことが大切です。



手紙の構成要素は5つあります。

- 1.紙を選ぶ
- 2. 筆記具を選ぶ
- 3.文章を考える
- 4. 文字を書く
- 5. 切手を貼る

「文章」に関していえば、「相手想いの手紙」は、わかりやすい文章で書かれています。わかりやすい文章とは、主語と述語が一致していて、1文1文が短くてシンプルです。わかりやすい文章を書くために、言葉の意味を正しく知り、正しく使えることは不可欠です。誤った意味・使い方で書かれた文章は、自分の頭の中のイメージが、相手に正しく伝わらないばかりが、相手に不快感を与えてしまう可能性さえあるからです。

日本語を正しく使いたいと思ったとき、私は「日本語検定」を活用しました。受検のための学習を通して、「ら抜き言葉」、「~させていただきます」、敬語など、正しいと思って使っていた言葉の誤用に気づいたり、日頃、いかにあやふやな知識で使っている日本語が多いか、気づくきっかけとなりました。

受検後は、自分の言葉を磨く意識が、一層高まりました。「公式問題集」に立ち返り、文法の正しい使い方を見直したり、正しい言葉の意味で使えているか、こまめに辞書で確認しています。

手紙はもちろん、ブログなどの記事を書く際には、「他に的確な言葉はないか」「もっと伝わりやすい表現はないか」と、言葉のバリエーションを増やすように心がけています。日本には美しい言葉がたくさんあります。「零れ桜」「思い葉」「濡れ色」「枯れ木星」…知らない言葉を知ったとき、新たな世界の見方を教えてくれることも。そんな言葉との出合いを、日々楽しんでいます。

ビジネスでも、プライベートでも、心が動く瞬間があります。「素敵!」「嬉しい!」「ありがたい!」この気持ちを誰かに伝えたいと思ったとき、より的確に、スムーズに表現できる語彙を、"言葉の引き出し"の中に持っておきたいですね。手紙は、人とつながり、より豊かな関係づくりのための、最強のコミュニケーションツールだと信じています。そのツールを最大限に活かすために、言葉の力は欠かせません。

青木多香子 氏のプロフィール

(社) 手紙文化振興協会認定 手紙の書き方マスターコンサルタント キャリアコンサルタント(CDA)

ミシガン州立大学コミュニケーション学部卒業。現地で編集・ライターの仕事をした後、帰国。広報担当として、日本語と英語で礼状を書くなかで、企業間の潤滑油となる手紙の重要性を体感。2014年(社)手紙文化振興協会認定手紙の書き方コンサルタントとなり、講座・企業研修、新聞・雑誌等を通して、手紙の力・言葉の力を広める活動を行う(2017年から現資格)。NHK E テレ「オトナへノベル」・FM東京「ももいろクローバー Z の SUZUKI ハッピー・クローバー」などテレビ・ラジオ出演、新聞・雑誌掲載多数。

また、教育・大学業界で10年以上のキャリア支援・人材育成経験を持ち、学生・ビジネスパーソンを対象として、応募書類の書き方指導を含めたカウンセリングを行っている。相談実績は、10代~70代・900名以上。

ブログ「手紙、おくります。」http://fanblogs.jp/tegamigift/

◎今後の講座案内については、ブログ及び(社)手紙文化振興協会の「講座スケジュール」をご覧ください。 http://www.tegami.or.jp/schedule/